☆知っ得！フォトテクニック☆

構図の基本は「三分割式」

三分割式
画面を縦横9つの格子に分けて，格子点(線)上に被写体や風景の「きわ」をもってくる構図．

格子点や格子線上に撮りたいもの(左の写真では，人物，建物)をあわせるとバランスがよく見える．そのほか，格子線上に水平線を合わせたり，格子点上に遠近法における消失点(無限遠点)を合わせてもよい．

クローズアップ！ズーム機能」の特徴

特徴①遠近感を緩和して遠くのもの大きく撮る

左の写真上は広角(ズームなし)で撮ったもので，遠近感があり，広範囲な背景を映すことができる．一方，写真下は少し後ろに下がってズーム機能を用いて撮ったもので，ガチャピン(人物)の大きさはほとんど同じだが，遠方にあるDVDケース(遠くの建造物や景色)を大きく撮ることができる．

特徴②ぼかしをもちいて被写体を際立たせる

ズーム機能を使うと，前後のピントの合う範囲(被写界深度)が狭くなり，背景や前景がぼけやすくなる．左の写真ではDVDケースにピントを合わせて撮影しているのだが，ガチャピンの輪郭がズームで撮影したものだと，よりぼやけて見えるのがわかるだろうか．

これを利用すると，コンデジでも多少のぼかしをきかした写真がとれる．

集合写真でも構図を意識すべし

大事なことは「そこがどこか？」「誰がいるのか？」

集合写真を撮るときに大事なのは，「そこがどこなのか」ということと，「写っている人が誰なのか」の2点である．この二つを満たす写真を撮ることを意識しよう．

集合写真のポイント

1. 撮影する人が背景全体の写るベストポジションまで移動する．
2. 不要なもの(地面，人ごみ，標識等)は極力画面の外に出して全体の構図を決める．
3. 構図が決まったらカメラマンは動かず，撮られる人がカメラに近づく

看板が切れてたり，
画面の半分以上が地面…
みんなの顔も小さい．